

EMC/Wireless 最新情報

2022 年 05 月 17 日

世界市場への参入のために必要な要求事項を常に把握しておくことは、重要であると同時にますます困難になってきています。

本資料は、アメリカ、カナダ、欧州、日本、オーストラリア、ニュージーランドおよび、その他国際規格に関する EMC/Wireless の最新規格・規制情報を掲載しております。世界の規制に関する UL の専門知識を活用し、ターゲット市場への迅速な参入や継続的な市場参入の実現にお役立てください。

Summary

- EU | EMC 指令/機械指令/低電圧指令/医療機器関連整合規格、UK 整合規格更新、委員会書簡
- アメリカ | KDB 更新、受信機イミュニティ要求
- カナダ | ICES-004、RSS-248、6 GHz 帯
- 日本 | 6 GHz 帯、Ku 帯、2.3 GHz 帯
- 各種規格 | EN、ETSI

* 本コンテンツの知的所有権は UL にあります。無断での転用配布・放送は禁止されています。

* 本資料は、資料作成時点の情報を基に作成しています。本資料の情報に基づいて行った行為により生じたいかなる結果に関しても、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。また解釈に疑義が生じた場合は原文をご確認ください。

* 参照先のリンクは本資料が作成された時点でのリンクとなります。本資料が公開されたタイミング、またはダウンロードして頂いたタイミングによっては参照先のリンクが有効でない場合がございます。ご了承ください。

* 本内容は一般的な情報を提供するもので、法的並びに専門的助言を与えることを意図したものではありません。

EU | EMC 指令/機械指令/低電圧指令/医療機器関連整合規格、UK 整合規格更新、委員会書簡

2022 年 4 月 13 日

EMC 指令の整合規格(2022 年 4 月 7 日付)として、EN IEC 62053 シリーズの追加・更新、EN 61009-1 の更新が行われています。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

また同日、機械指令の整合規格(2022 年 4 月 7 日付)も更新されています。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

2022 年 5 月 10 日

低電圧指令の整合規格(2022 年 5 月 4 日付)が更新されています。EN 60335 シリーズ、EN 61010 シリーズの更新、LED、自動車充電関係の追加などもあります。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

2022 年 5 月 12 日

医療機器の品質管理システムおよびリスクマネジメントに関する整合規格(2022 年 5 月 11 日付)が更新されています。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

また英国において RE 指令などに対応する整合規格の更新が 2022 年 5 月 10 日にありました。無線機器に対する内容は欧州で 2021 年 7 月 19 日に更新されたものと同様です。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

2022 年 4 月 21 日

欧州委員会から欧州電気通信標準化機構 (ETSI) への書簡が提出されました。この書簡には、委任法 (2019/320)への準拠を要求することは ETSI の裁量ではないことが明記されています。従って、ETSI の AML 規格(TS 103 825 等)が強制であるかのような誤解を与えることは好ましくなく、あくまでも整合規格がない場合の判断は Notified Body にある、ということが示された形です。

2022 年 5 月 2 日

EU はロシアによるウクライナに対するクリミア併合に対して 2014 年から制裁を行っていますが、今回 EU 域内にある NB に対してロシアとベラルーシの事業者に対する認証を停止する文書が出されています。MRA に基づく NB に関しては、MRA 締結国における制限に従うべきですが、基本的には認証は難しいと思われます。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

アメリカ | KDB 更新、受信機イミュニティ要求

2022 年 4 月 25 日

【[393764](#)】 UWB Compliance Measurements

※D01 v02r01 へアップデート : UWB デバイスのモジュール認可の明確化のため Q7 を追加

Q7: モジュラー認可を申請する UWB デバイスに対する特別な考慮事項は?

A7: UWB モジュールは、§ 15.519(b)–(e) で指定された要件の下でのみ付与でき、§ 15.519(a) の小型の主にハンドヘルドデバイス、または § 15.517 (a) の屋内用条件下で動作することを目的としたホストでのみ使用可能。組込みマニュアルは、次のような UWB ルールのすべてのホストの操作上の制限と制限についての指示を提供する。

- 屋内での使用を目的としたホストデバイスは、§ 15.517 (a) の要件に準拠する必要がある。ホストのユーザーマニュアルには、デバイスまたは取扱説明書に「この機器は屋内でのみ操作できます。屋外での操作は 47 U.S.C. 301 に違反し、オペレーターに重大な法的罰則を科す可能性があります。」と記載する
- 屋外で利用できる可能性のあるホストデバイスは、§ 15.519 (a) のハンドヘルド制限に準拠する
- 屋内ホストまたは主にハンドヘルドホストの両方について、モジュール統合マニュアルには、§ 15.521 (a) に基づいて UWB デバイスを使用して玩具を操作することはできないと記載されているものとする。航空機、船、衛星での運航は禁止されている

2022 年 4 月 25 日

【[926956](#)】 Permissive changes to UNII devices

※D01 v02r01 へのアップデート: 移行日が過ぎているため、すべての U-NII デバイスは現在のルールを満たす必要がある。ノートコード: 38、39、48、49 は期限切れになり、新しい Grant には不可。すでに発行された Grant には残る。ノートコード 38、39、48、および 49 のデバイスは、インポート、販売、または販売できない。近い将来、本文書は廃止される予定

2022 年 4 月 25 日

【[905462](#)】 15.401 UNII, U-NII, DFS Test Procedures

※D07 v02r01 へアップデート: ノートコード 38、39、48、または 49 の要件は、すべてのデバイスが現在の UNII 要件に準拠する必要があるため、不要となり削除された。 § 15.407 (h) の送信電力制御 (TPC) および動的周波数選択(DFS)の要件に応じて、コード ND が追加

2022 年 4 月 25 日

【[653005](#)】 Vehicular Radar, Part 95 Subpart M

※D01 v01r02 へアップデート: Part 95 Subpart M の適用可能性を判断する目的で、車両として適格なものを明確にするために 2 項を変更(一般に、何かまたは誰かを動かす特定のタスクを実行するために使用されるプラットフォームは、Part 95 Subpart M の下でレーダーデバイスを認定する目的で車両と見なされる)、追加の適合測定ガイダンスを提供するために 5 項を追加(試験条件、テストサイト、アンテナ、測定器の条件を記載)

2022 年 4 月 26 日

【[640677](#)】 Requirements for LED lights

※D01v02へアップデート：LEDドライバの「4コーナー(最小動作出力電流での最大出力電圧、最小動作電圧での最大出力電流、最大動作出力電力[最大電圧と電流]、最小動作出力電力[最小電圧と電流])」の出力負荷条件を使用し、照明器具の代表的なテストフィクスチャを使用して出力設定を変更することを明確化する

2022 年 4 月 26 日

【[610077](#)】 Post-Market Surveillance Requirements for TCBs

※D01v06r02：TCBは市場監視にD02のレポートテンプレートを使用することを記載し、D02を追加

2022 年 4 月 27 日

【[987594](#)】 UNII-6GHZ, UNII 5-8, 6 GHz, UNII

※D04追加 PAG アイテム UN6GHZ を提出するためのガイド。アンテナ、CBP、クライアントデバイス制限、エミッションマスク、フィリング、HAC、ラベル、モジュール、RFEX、セキュリティ、スプリアスなどの項目の確認

2022 年 5 月 13 日

FCC は 2022 年 4 月 21 日に発行された、FCC 22-29 を官報に掲載し、受信機干渉イミュニティ性能の改善を促進する方法に関する利害関係者からのコメントを募集しています。より優れた受信機干渉耐性性能を可能にした技術の進歩を取り込み、受信者のパフォーマンスの懸念が顕著である問題を特定することを目指しています。そのため受信機の性能を改善するためのプロセスを開始しています。スペクトル管理をより効果的にすることを目的とし、ライセンス機器だけでなくライセンス不要の無線受信機も対象としています。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

カナダ | ICES-004、RSS-248、6 GHz 帯

2022 年 4 月 21 日

交流高電圧電力システムの規格である ICES-004 Issue 5 のドラフトが発行されています。以前の版からの変更は以下となります。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

1. 2.2 項(参照)と 2.3 項(定義)の更新
2. 3.2 項 ループアンテナの特定の高さ、ロッドアンテナのカウンターポイズを適切に接地する必要性など、測定手順のさまざまな側面の明確化
3. 3.3.1 項 制限仕様を再フォーマットして、適合性のより簡単で迅速な決定を可能化。 制限仕様の古い形式は、付録 B に保持
4. Annex A 要件と制限の履歴を提供
5. Annex C 測定シナリオの例を追加

2022 年 5 月 2 日

ISED は RSS-248 Issue 2 のドラフトをコメント期限 2022 年 7 月 15 日とし公表しています。主な変更は以下となります。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

1. RLAN デバイスの新しいクラスを追加：標準電源アクセスポイント、固定クライアントデバイス、および 5925 MHz～6875 MHz 周波数帯域で動作する標準クライアントデバイス
2. 新しい RLAN デバイスクラスに関連する定義を追加
3. Issue 1 から RLAN デバイスの定義を改訂
4. RSS-Gen でカバーされているため、周波数安定性に関するセクションを削除
5. 新しい RLAN デバイスクラスの電力リミットをカバーするセクションを追加
6. 新しい RLAN デバイスクラスの運用要件を追加
7. 標準電源アクセスポイントと固定クライアントデバイスのジオロケーション要件を追加
8. 自動周波数調整システムに標準電源アクセスポイントと固定クライアントデバイスのアクセス要件を追加
9. ソフトウェアセキュリティ要件のセクションを追加
10. 必要に応じて編集上の変更と説明を追加

また同日付で、6GHz (5925 MHz～6875 MHz)帯における自動周波数調整システム管理者(AFCSA)の指定、および標準電力 RLAN デバイスの使用可能な周波数と関連する最大電力レベルを識別できる AFC システムの動作に関する技術要件を示す、DBS-06 (Automated Frequency Coordination [AFC] System Specifications for the 6 GHz [5925-6875 MHz] Frequency Band) Issue 1、そして ISED が指定を行う動的スペクトルアクセスシステム管理者 (DSASA)と総称する、ホワイトスペースデータベース管理者 (WSDBA)、または動周波数調整システム管理者 (AFCSA)になることを希望する申請者が従う手順の概要を示す、CPC-4-1-01 (Application Procedures for Dynamic Spectrum Access System Administrators [DSASAs]) Issue 2 へのコメント募集が、2022 年 7 月 15 日までの期限で開始されています。詳細はそれぞれウェブサイトをご参照ください。(DBS-06)、(CPC-4-1-01)

日本 | 6 GHz 帯、Ku 帯、2.3 GHz 帯

2022 年 4 月 18 日

意見募集が行われていた 6 GHz 帯無線 LAN の導入のための技術的条件についての結果が公表されています。おおむね変更なく進められる模様ですが、規制は屋外利用を禁止することを目的としているため、LPI モードにおける「バッテリー駆動を禁止」する文面を様々な運用を考慮し「外部電源ケーブル駆動」とするよう変更される予定です。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

2022 年 4 月 27 日

小型の人工衛星の実用化が比較的容易になったことにより、通信の遅延時間が短い中・低軌道に打ち上げた多数の小型衛星を連携させて一体的に運用する「衛星コンステレーション」を構築し、高速大容量通信など多様なサービスを提供することが可能となっています。このような中、高度 1200 km の極軌道を利用する衛星コンステレーションによる Ku 帯非静止衛星通信システム(Ku 帯非静止衛星通信システム[1200km])が、2022 年にサービス開始予定であり、そのための省令が更新されました。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。(概要)

2022 年 4 月 28 日

2.3 GHz 帯携帯電話に係る技術基準に関する制度整備のため、無線設備規則、および、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則の一部を改正する省令(令和 3 年総務省令第 103 号)が 2021 年 11 月 29 日に公布・施行されています。既に市場に出回っている携帯電話端末の無線設備に関し、2.3 GHz 帯に関する工事設計認証を新たに受ける場合、条件によっては、新たな特定無線設備に係る認証を追加することとなりますが、このような場合における認証番号の取扱いに関して明確化を図る改正を行うための意見募集が 2022 年 6 月 2 日まで行われています。これによれば同一の認証番号とすることが可能になります。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

各種規格 | EN、ETSI

2022 年 4 月 22 日

[EN 55016-1-6:2015/A2:2022](#) Specification for radio disturbance and immunity measuring apparatus and methods - Part 1-6: Radio disturbance and immunity measuring apparatus - EMC antenna calibration

2022 年 4 月 27 日

[Final draft ETSI EN 303 447 V1.3.1 \(2022-04\)](#) Short Range Devices (SRD); Harmonised Standard for access to radio spectrum; Inductive loop systems for robotic mowers operating within the frequency range 100 Hz to 148,5 kHz

[Draft ETSI EN 303 687 V1.0.0 \(2022-04\)](#) 6 GHz WAS/RLAN; Harmonised Standard for access to radio spectrum

< 上記の EMC/Wireless に関するお問合せ先 >

担 当 ： [コンシューマー機器事業部](#) [橋本](#)



UL.com

本内容は一般的な情報を提供するもので、法的並びに専門的助言を与えることを意図したものではありません。
UL の名称、UL のロゴ、UL の認証マークは UL LLC の商標です © 2022